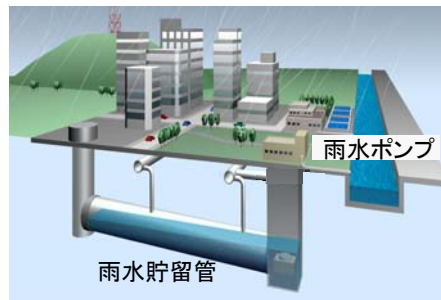


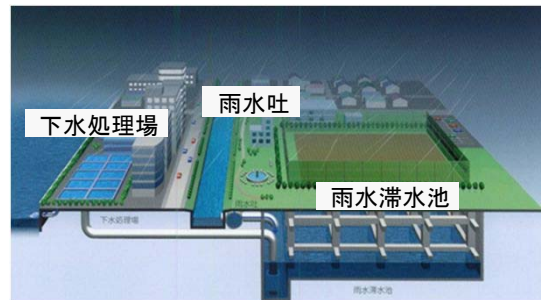
取組概要	進行管理の指標	平成27(2015)年度の取組結果	
<p>合流改善用スクリーンの設置やポンプ場スクリーンの改善に継続して取り組むとともに、未処理下水の汚濁負荷や放流回数の削減を図るため、<b>雨水貯留管・雨水滞水池</b>※などを建設してきたが、今後も建設事業を推進することにより、汚濁負荷の高い初期雨水対策を進める。</p>	<p>○平成27(2015)年度未合流式下水道改善率68.5%</p>	<p>○ポンプ場スクリーン目幅縮小4箇所実施 ○平成20(2008)年度に着手した大師河原貯留管の建設事業を推進</p>	
<p>※雨水貯留管・雨水滞水池 汚濁負荷の高い初期雨水を一時的に貯留する施設（本市では多くの施設で浸水対策の役割を併せ持つ）</p>	<p><b>評価</b></p>		<p><b>B</b></p>

**今後の取組**

- 【平成28(2016)年度】
- 大師河原貯留管建設事業を継続実施
- 六郷遮集管建設事業の推進
- 【平成29(2017)年度以降】
- 大師河原貯留管建設事業を継続実施
- 六郷遮集管建設事業の推進
- 雨水吐き口への合流改善用スクリーンの設置



**雨水貯留管**



**雨水滞水池**

# IV 環境に配慮した行動の促進

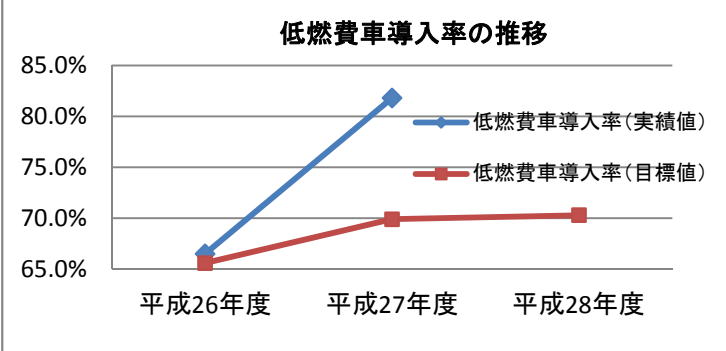
## IV-1 事業活動における適正な環境管理

### IV-1-(1) 市役所の率先した環境配慮の取組

上水 工水 下水

取組概要	進行管理の指標	平成27(2015)年度の取組結果	
市役所が率先して環境保全活動を推進することを目的に、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を全庁的に行い、公用車については、低燃費車を導入し、優先的に使用する。  低燃費車導入率(実績値) 平成24(2012)年度 60.0% (126台/210台)	○平成27(2015)年度の目標値 低燃費車導入69.9% (209台中146台うちハイブリッド車7台)	○低燃費車導入率81.8% (209台中171台うちハイブリッド車11台)	
		評価	A

今後の取組
○環境に配慮した契約やグリーン購入の推進 ○照明・OA機器・空調管理などにより環境に配慮した事業活動を推進 ○紙類等の使用量削減や庁舎から排出される廃棄物の削減、リサイクルなど環境配慮行動を推進 ○引き続き、公用車は、代替時期に合わせて、低燃費車を導入



### IV-1-(2) 省エネ法に基づくエネルギー管理の取組

上水 工水 下水

取組概要	進行管理の指標	平成27(2015)年度の取組結果	
省エネ法の改正(平成22(2010)年4月1日)に伴い上下水道局全体が「特定事業者」として指定を受け、エネルギー管理統括者等の選任、中長期計画書・定期報告書の作成を行う中でエネルギー使用量の把握・適正管理を行い、エネルギー消費原単位の低減を目指す。	○上下水道局全体で中長期における年平均約1%以上のエネルギー消費原単位*の低減  ○平成26(2014)年度エネルギー消費原単位 ・上水浄水場等 0.02303kl/千m <sup>3</sup> ・工水浄水場等 0.04639kl/千m <sup>3</sup> ・水処理センター等 0.1199kl/千m <sup>3</sup>  *エネルギー消費原単位 エネルギー使用量をエネルギー消費と関連のある量で除した値で、エネルギー消費効率を比較するための単位(省エネ法の努力義務=年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減)	○平成27(2015)年度エネルギー消費原単位 前年度比 1.6%低減 ・上水浄水場等 0.02325kl/千m <sup>3</sup> (1.0%増) ・工水浄水場等 0.04577kl/千m <sup>3</sup> (1.3%減) ・水処理センター等 0.1188kl/千m <sup>3</sup> (0.9%減)	
		評価	B

今後の取組
○引き続き、中長期における年平均約1%以上のエネルギー消費原単位の低減を目指し、省エネルギー対策への取組を推進

